

PET/CT 検査について（紹介元医療機関の皆様へ）

本院高度画像診断センターへPET/CT検査を依頼される場合は、「診療情報提供書の送付」と「患者さんへの説明」をよろしくお願いいたします。なお、特に注意していただきたい点を、次のとおり記載させていただきましたのでご確認願います。

○ PET/CT検査の保険適用等について

保険診療としてPET/CT検査を受けていただくことができるのは、別表「PET/CT検査の保険適用要件確認表」のとおり、てんかん若しくは虚血性心疾患や大型血管炎の診断又は悪性腫瘍（早期胃癌を除く。）に限られ、更にPET検査予約時に他の検査、画像診断、病理診断等による精査が既に行われていることが必要です。**自由診療**の場合には、これらの制限はありません。

また、DPC包括請求で入院中（入院日・退院日を含む）の同一月内に悪性腫瘍の診断目的でガリウム・シンチグラフィの核医学検査が行われている場合も保険適用となりませんので、ご注意ください。

ただし、**自由診療**として患者さんの了解が得られる場合には、検査を受けていただくことに何の問題もありませんので、積極的にご紹介いただければ幸いです。

○ PET/CT検査の費用

検査にかかる費用は、保険適用(3割負担)の場合は、30,000円前後、保険適用されない場合は、131,300円(消費税込み)の負担となります。

○ その他の留意事項

1. 早期胃癌の診断は、現在保険適用になっていませんので自由診療となります。
2. スクリーニング検査は、自由診療となります。
3. 胎児へのFDG移行が報告されており、妊娠中あるいは妊娠の可能性のある女性には原則として行えません。
4. 糖尿病で血糖値のコントロールが不良の方は検査できない場合があります。
5. 検査までに時間が他の検査に比して長いため、介助が必要だと思われる患者さんに対しては原則としてどなたかの付き添いをお願いします。付き添い時には少量ですが被ばくを伴うため、その旨事前にご説明願います。
6. **保険適用にならない例**（自費診療扱いで受付対応します）
 - ア) 化学療法や放射線治療の効果判定の目的
 - イ) 再発を疑う強い所見が無い定期的な経過観察目的
 - ウ) 腫瘍マーカー高値のみによる疑い検査目的
 - エ) 非適用疾患（認知症や炎症性疾患）の場合
 - オ) DPC包括請求で入院中（入院日・退院日を含む）、同一月内にガリウムシンチグラフィが実施されている場合
 - カ) スクリーニング目的、健康診断目的

別表「PET／CT 検査の保険適用要件確認表」

(病名及び具体的な理由を下の表によりそれぞれ該当するものについて確認してください。)

病 名	具体的な理由
<input type="checkbox"/> てんかん	<input type="checkbox"/> 難治性部分てんかんで外科切除が必要とされる患者
<input type="checkbox"/> 虚血性心疾患	<input type="checkbox"/> 虚血性心疾患による心不全患者で、心筋組織のバイアビリティ診断が必要とされる患者。ただし、通常の心筋血流シンチグラフィで判定困難な場合に限る。
大型血管炎 <input type="checkbox"/> (高安動脈炎または巨細胞性動脈炎)	<input type="checkbox"/> すでに大型血管炎と診断のついている患者の、他の検査で病変の局在または活動性の判断のつかない方
<input type="checkbox"/> 悪性腫瘍 (早期胃癌を除く。)	<input type="checkbox"/> 他の検査、画像診断により病期診断、転移・再発の診断が確定できない患者

上記の悪性腫瘍の場合、以下の6つのうち該当するものに必ずチェックをしてください。

- 治療前の病期診断
- 二段階治療を施行中の患者において、第一段階治療完了後の第二段階治療方針決定のための病期診断。例えば、術前化学療法後、または、術前化学放射線治療後における、術前の病期診断、等。
- 転移・再発を疑う臨床的徴候、検査所見がある場合の診断
- 手術、放射線治療などによる変形や瘢痕などのため他の方法では再発の有無が確認困難な場合
- 経過観察などから治療が有効と思われるにも拘わらず他の画像診断等で腫瘍が残存しており、腫瘍が残存しているのか、肉芽・線維などの非腫瘍組織による残存腫瘍なのか、を鑑別する必要がある場合
- 悪性リンパ種の治療効果判定（転移・再発診断の目的に該当するとの見解）